

平明の会 宮木 健 議員

交通安全について

(質問) 通学路の合同危険箇所点検や、自治会からの道路規制標識や路面表記等の改善や、新規設置の要望等が数多く提出されているが現状どのくらい処理されて、どのくらい残っているのか、また、どの部署にて対応しているのか、今後どのように取り組んでいくのか。

(答弁) 合同危険箇所点検は本年度、延べ4日

間21か所で実施している。これまでに103か所で実施されたところ87か所において改善対策済である。本市への交通安全施設要望は、平成25年・26年合わせて540件あるが、残り61件残っているだけで適宜対応している。しかしながら、公安委員会対応分が平成25年・26年合わせて104件であり、平成26年度末の完了見込みを含めて37件である。今後とも公安委員会・国・県等と緊密に連携を図って交通安全対策に取り組んでいく。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

防災危機管理意識について

(質問) 近鉄線より海側に21か所設置されている防災同報無線では、聞こえない所、聞こえる所がある事をはっきり示して、それなりの対応ができるようにすべきではないか。避難所の認定や広報も、津波の到来を恐れ、避難しなければと考える市民の気持ちに伝えるレベルになっていない。このことを自覚して、防災・減災に

努めてほしいがどうか。

(答弁) 防災スピーカーを補完する情報伝達手段として、2~3倍伝達範囲が広いモーターサイレンの活用について消防と協議している。さまざまな媒体を活用して、迅速な情報伝達に努めるので、市民の皆様には、日頃から緊急情報を知る努力を行ってほしい。津波に対しては、浸水予測区域外への避難を呼びかけているが、緊急的に避難する場所の情報提供は、ホームページの修正等により、市民の利便性を考えて対応する。

開政クラブ 森田 英治 議員

雨水対策について

(質問) 総合雨水対策基本計画の進捗状況と、金沢川の整備状況について伺う。

(答弁) 基本計画策定業務は、市内全体の河川、排水路、雨水下水道の課題に対応するため、直近5年間の事業計画を見直し、優先すべき雨水対策を的確に選定し、浸水被害の低減を図ることを目的とした総合的な雨水排水対策の基本方針

となるものである。本年度は、近年の水害状況などの基礎調査の実施し、現状把握と計画について整理している。金沢川については、地子町のJA鈴鹿農協本店北側までの区間を、平成32年度を目途に順次改修することにより、神戸地区及び消防署周辺から図書館周辺の雨水排水状況がよくなり、浸水が軽減できると考えている。また、算所町までの第2期整備区間についても、継続して事業を推進していく。

その他質問 ○モータースポーツ振興事業について

開政クラブ 板倉 操 議員

人口が減り始めているが考え方は

(質問) 現在鈴鹿市規模の地方都市でも人口減少が課題となっている。90年代後半からの国の政策の結果である。本市でもリーマン・ショック後の外国人のみならず、日本人の人口も減り続け(転出が多い)出生率も下がり続けている。原因はリーマン・ショック後、市内に働く場がなくなり転出が増えたからだ。若者にとっては特に、雇用があり子ど

もを産み育てることができる賃金の保障はもっとも大事なことである。このような社会的要因での人口減少をくい止める上での対策について。

(答弁) ご指摘のとおり日本人の人口が減少する要素を最小限にする取組みが重要さを増している。現在までしてきた地産池消、公共事業等における市内調達、中小企業者への支援等に加え、調和の取れた産業構造を維持発展させ若い世代の人口維持を意識していく。

その他の質問 ○ひとり親家庭等日常生活支援